

八清親和会 自治会役員の一とり言

平成30年4月8日

No9

八清親和会 副会長

吉田祐治

4月6日（金）、昭島市立東小学校の第65回入学式に、八清親和会を代表して、また、昭島市自治会連合会第3ブロックを代表して出席してきました。今年、47名の生徒が入学しました。

東小学校は、昭和25年4月25日、昭和町（現在の昭島市）の玉川小学校分校として12学級で発足した小学校です。

私が小学校に入学した当時は、分校のため、入学式は玉川小学校で行い、数か月後だったかと思いますが、その後八清地域は東小学校に通学区域が変わり、入学式は玉川小学校、卒業式は東小学校と変則的な体験をしました。そのため、現在も八清地域は、2/3が東小学校、1/3が玉川小学校の通学区域となっています。

また、第3ブロックでは、八清親和会、都営玉川自治会、東中神公団自治会、栄町自治会の4つの自治会が東小学校通学区域になっています。

そして、第3ブロック運動会では、隔年ごとに東小学校にお世話になっており、地域のみならず、自治連とも密接に関わっています。

地域活動に於いても、八清子ども会とは自治会行事、活動に於いて密接に関わっていますため、入学式は、学校関係者や、地域の活動に関わってくださった子供達、父兄への、感謝の気持ちで出席させていただいています。

八清地域は、現在も、玉川小学校区域と東小学校区域の2つの通学区域があるため、玉川小学校は卒業式、東小学校は入学式と分けて出席しています。

そして、このような地道な行動が第3ブロックあるいは、八清親和会の行事や活動に、子供達や父兄の参加増加につながり、八清親和会活動の若い世代の増加へとつながってきています。

今、多くの自治会で、行事、活動の若い世代のお手伝いや参加者が少ない。また、子供の参加が少ないと言う問題点の話を聞きますが、自治会の若い世代は、幼児・小学校・中学生の子供がいる若いご夫婦の世帯会員です。

若い世代の自治会行事・活動への参加増加は、八清親和会の取り組み経験からも、まず、自治会として小学校や中学校の、学校行事などへの出席、参加等の地道な行動の積み重ねによるものです。

言葉だけではなく行動が必要です。役員や、父兄は良く見えています。役員や父兄と自治会行事や、活動での立ち話、懇談の席上で、学校行事に来てくれていましたね、いつも委員会に出てくれますね、とお礼や会話に出てきます。

そして、役員や子供たちの父兄は、自治会役員も子供たちの活動と一緒にあって応援・支援してくれている姿を見て、自治会の行事・活動にも協力し、参加してくれるのです。

今や、八清子ども会は、第3ブロック運動会や、お祭りの子供会コーナーでは、子供と共に親御さんが全員参加してくれています。

八清親和会も数年前までは、これら学校の行事・活動に出席していませんでした。しかし、学校行事や委員会に地域として出席するようになってからは、学校関係者、父兄役員、子供会役員・子供たちの父兄との距離が狭まり、自治会行事や活動に多くの若いご夫婦・子供たちの参加が増え、そして、お手伝いや、行事・活動にも、若い世代の人たちが戻ってきました。

出発点は、入学式や卒業式に自治会として出席してからです。また、父兄の活動の委員会などにも、自治会として名前だけを連ねるのではなく、きちんと出席しているからです。

この信頼関係が、自治会活動への若い世代の参加につながっているものと思っています。

これからもこれを忘れずに行動を続けていきます。

以上、東小学校の入学式に出席し感じた、ある役員の一とり言です。

以上